

災害復興から地域再生へ

—中越地震11年の復興をふりかえって—

参加
無料

新潟県中越地震が起きてから、今年で 11 年になります。中越地震では、山間部に散在する集落が大きな被害を受けました。地震は、折からの過疎化を一層深刻なものとし、復興の大きな課題となりました。そんな中越地震の被災地では、地震をきっかけとした地域内外の人々との交流を通して、住民主体の地域再生の取り組みが進みました。セミナーでは、中越地震の被災地での取り組みをふりかえりながら、災害復興からより長期的な地域再生にむけて、どのようなことが大切になるのか、みなさんと一緒に考えたいと思っています。

プログラム

開会挨拶 渥美公秀 大阪大学大学院教授

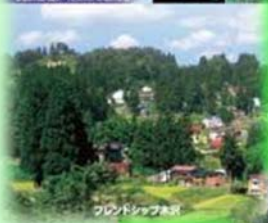
18:00 復興から地域再生へ—中越地震 11 年の復興をふりかえって—
講師：宮本 匠（兵庫県立大学 講師）

20:00 終了・懇親会

講師紹介：

宮本 匠（みやもと たくみ）

大阪府東大阪市出身。大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程修了。日本学術振興会特別研究員(PD)、京都大学防災研究所特定研究員を経て、2015 年より兵庫県立大学・防災教育研究センター専任講師。中越地震の被災地では、地震半年後より、合計 2 年間の現地居住を含めて、集落支援の現場に継続的に関わりながら研究を続けている。研究テーマは、内発的な災害復興プロセスについて。



主催：大阪大学未来共生イノベーター博士課程プログラム
後援：チーム北リアス、大阪大学野田村コミュニティ復興研究会
国立天文台震災復興データセンター

お問い合わせ先

大阪大学野田村サテライト

住所：野田村大字野田 22-114-49 TEL：0194-75-4221

HP：<http://www.respect.osaka-u.ac.jp/satellite-nodamura/>

11月11日(水)

18:00~20:00

大阪大学野田村サテライト



RESPECT